

選ぶなら、強い防災、見える防災。 石州カワカミ 平板瓦 クエスト。

石州カワカミのクエストは防災機能がはっきり見える。

だから、万一壊れていても、すぐ発見、すぐ連絡、すぐに取り替え。

だから、安心、だから安全なのです。



使用色 銀黒

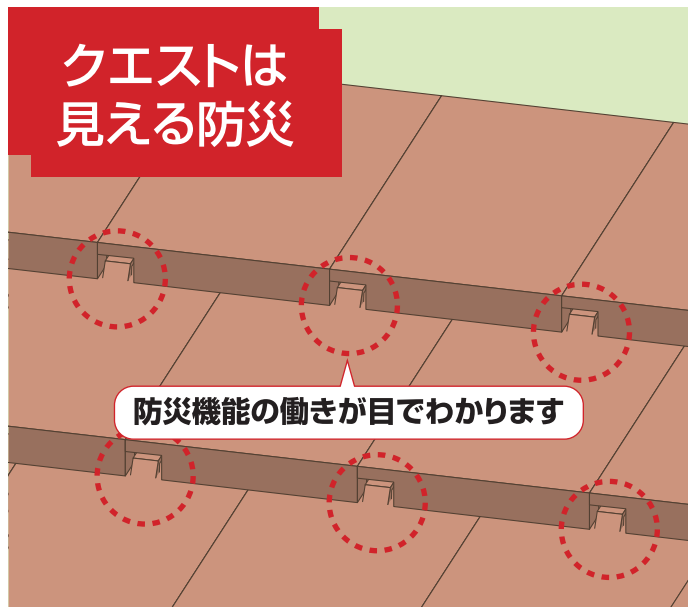
クエスト

カワカミ・セーフティフラット K'UEST

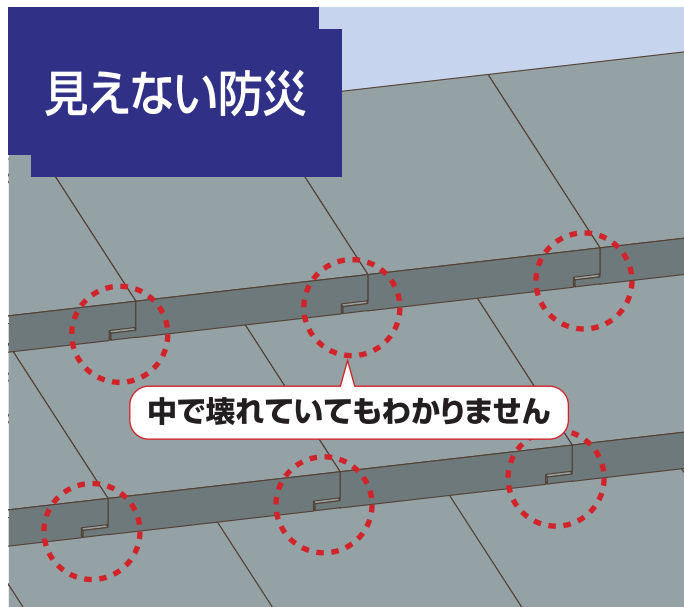
お宅の屋根の防災力、ちゃんと機能していますか。 ちゃんと見えていますか。

せっかく防災瓦を使ったのに風で飛ぶ、地震でズレル。そんな現象が起きています。
理由は二つ。もともと防災力が弱いのか、防災機能が壊れているかのどちらかでしょう。

クエストは 見える防災

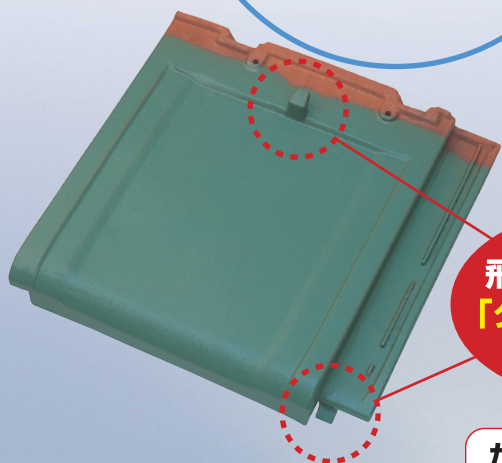


見えない防災



強風に
克つ!

独自の Wラッチ 防災システム

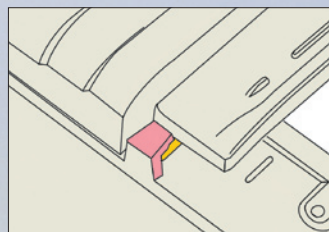
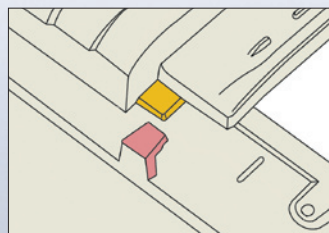


がっちりスクラムで
強風に負けない!

Wラッチで飛ばない!飛ばさない!!

風の防災性能を、独自のWラッチ防災システム「クエストロック」により強化。上の瓦の防災ラッチが下の瓦の防災ラッチに噛み込まれ、下の瓦が上の瓦を押さえ込み、瓦の浮き上がりを防ぐくみを確認しました。

また、特別な防災留め具を必要としないため、防災性能を強化しながらも、施工スピードは従来通り。効率よく耐風、耐震性能が得られます。



ちょっと
お耳を

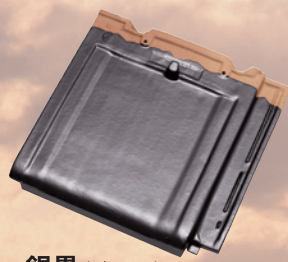
防災瓦のクレーム 三大要素

防災瓦で葺いたのに「風で飛んだ」
「地震ですれた」
「雨漏りがする」

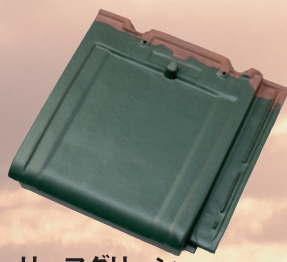
防災瓦で葺く工法を、屋根の設計施工ガイドラインは「組合せ葺き」と名付けています。組合せ葺き工法は通常の工法より耐風・耐震性に優れ、国が定めた各地の基準風速から屋根を守る性能を保持しています。だから、風で飛んだり、地震でズレたりすることは、まず無いんです。もし飛んだとしたら、工事の欠陥か、防災瓦が機能しなかったかのどちらかです。

レギュラーカラー

Color Variation



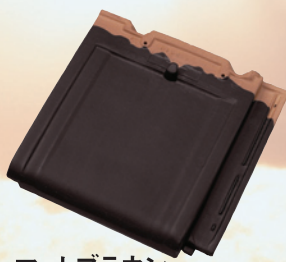
銀黒 (ぎんくろ)



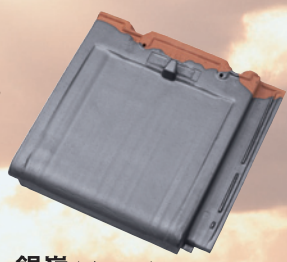
リーフグリーン



マットブラック



マットブラウン



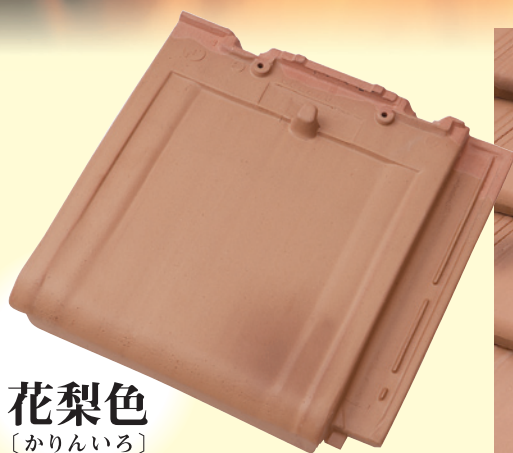
銀嶺 (ぎんれい)

※オリジナルの特注色も承ります。詳しくはご相談ください。 ※写真は印刷のため、実際の色と多少異なる場合があります。

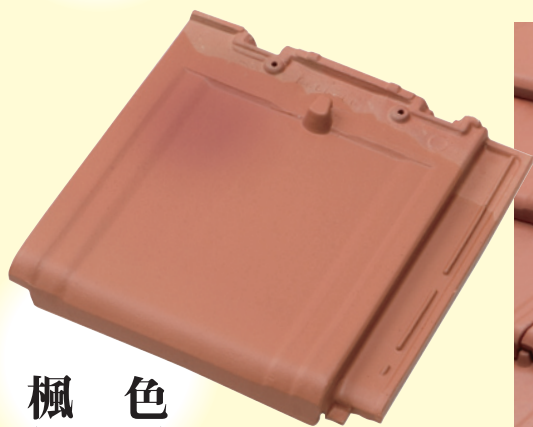
防災性に趣をプラス…窯変調シリーズ

炎が描きだす、小さな宇宙。

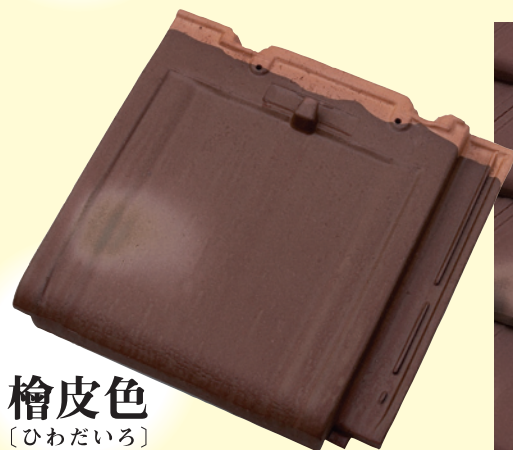
窯内の微妙な温度変化によって出来る窯変模様は、焼き物の世界で古くから珍重されてきました。「窯変調シリーズ」は、その微妙な模様を再現。住まいに趣きと格調を演出します。



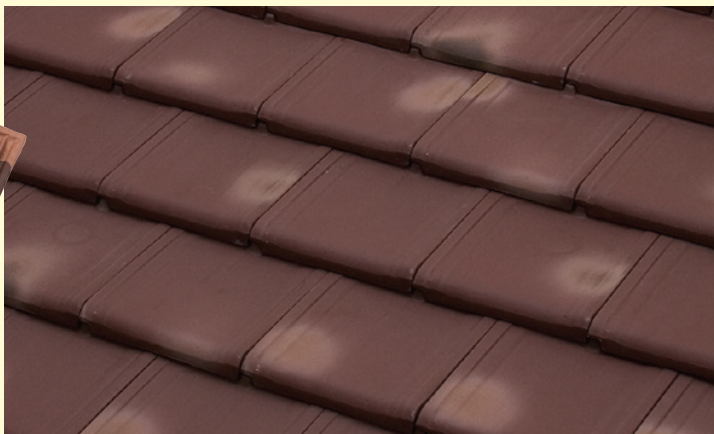
花梨色
[かりんいろ]



楓 色
[かえでいろ]



檜皮色
[ひわだいろ]





使用色 銀黒



使用色 銀嶺

K'UEST GALLERY

【クエストギャラリー】

端麗なフォルムの中に秘められた「防災次世代性能」の数々。
邸宅を持つ喜びを施主様が素直にご体感いただける風合いと印象的な独特の趣。
街に人に新たな価値観を刻む、それがクエストです。



使用色 檜皮色



使用色 マットブラウン



使用色 マットブラウン



使用色 リーフグリーン



使用色 銀黒



使用色 マットブラック

Product Message

[プロダクト メッセージ]

夏の暑さを、冬の寒さを、本当に防いでくれる。
梅雨の雨から、秋の台風から、本当に守ってくれる。
身体に安心、環境負荷は0、やがて自然に還っていく。
石州は、昔からそんな瓦を造っています。

土に自信あり

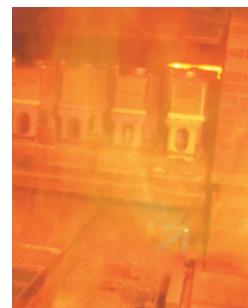
セラミック製品は、焼成温度が高ければ高いほど強くなると言われます。石州瓦は凍害、塩害、酸性雨、曲げ破壊強度に強く、変色しにくい優れた品質を有しています。その訳は「土」と「焼成温度」。良質で耐火度の高い土と1200度以上の焼成温度で焼き締められることに強さの秘密がありました。

粘土瓦産地別の焼成温度・耐火度比較

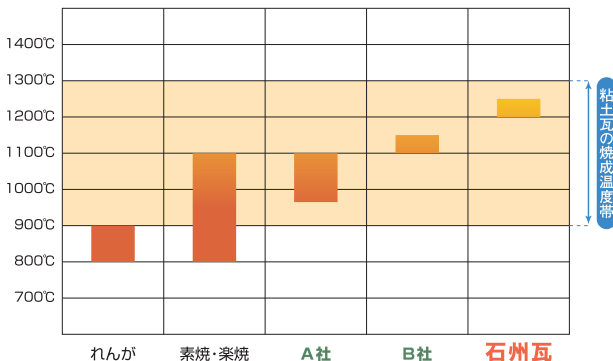
	石州瓦	他産地A	他産地B
焼成温度	1200℃以上	1100～1150℃	970～1100℃
耐火度(坯土)	SK17～19	SK16～18	SK16

焼成温度が高いから強い

すでに説明したように、焼きの温度が高いほど強くなるのがセラミック製品。瓦も例外ではありません。とくに、温度差は1000度を超えたあたりからの50℃、100℃の違いが大きいとされ、凍害、塩害、酸性雨、破壊強度に決定的な違いが表れます。下記のグラフは日本の粘土瓦の焼成温度帯。石州瓦の温度の高さがわかりいただけると思います。



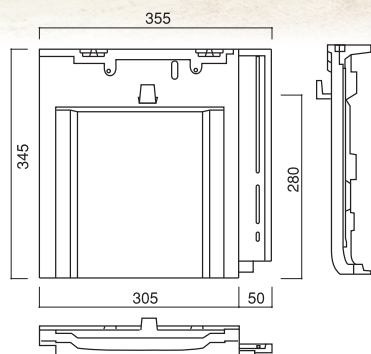
焼成温度の比較(石州瓦工業組合調べ)



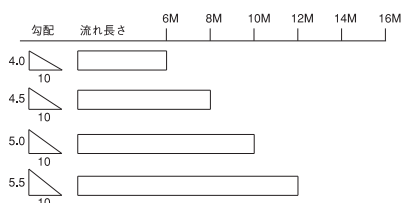
物性概要

項目	社内規格
曲げ破壊荷重	2700±500N
吸水率	6.0±1.0%
凍害試験	ひび割れ、剥離なし ※25回繰り返し

製品仕様



石州防災平板瓦クレスト標準屋根勾配



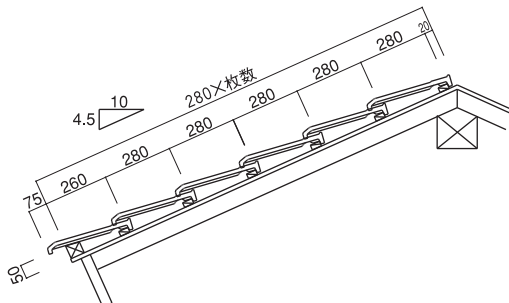
※この性能値は保証値ではありません。
※実際の施工時には、地域や建築物の種類等を考慮し、下地に注意して下さい。
4/10(4寸勾配)以上の屋根にご利用下さい。
(注)5寸勾配に満たない仕様の場合には、下地材に十分注意を払って下さい。

寸法	全長345mm(±4mm)全幅355mm(±4mm)
働き寸法	長さ 280mm(±4mm)
	幅 305mm(±4mm)
葺き枚数	12枚/m ² ・40枚/坪
重量	3.85kg/枚・45kg/m ² ・154kg/坪

割付寸法

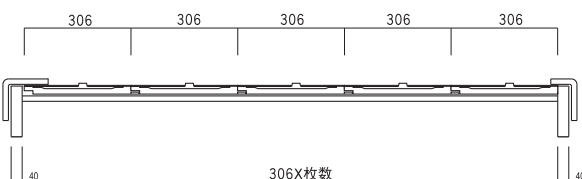
流れ方向

- 流れの寸法は、利足(280mm)×枚数を基準に割付けて下さい。
- 軒先瓦の出を75mmとし、260mmの位置を第1瓦棧の位置として、順次利足の寸法で瓦棧を設置して下さい。
- 流れの勾配は、4寸以上とします。
- 5寸勾配に満たない仕様の場合には、下地材に十分注意を払って下さい。



桁行き方向

- 桁行は、306mm×枚数を基準に割付けて下さい。(破風内々寸法)
- 流棧は、455mm以下(タルキビッチ)で割付けて下さい。



※この割付寸法はあくまで標準値です。施工の際には許容幅を設けて下さい。

粘土瓦の特性について

粘土瓦は天然のため、下記のような現象が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく、品質上の問題はまったくありませんので安心してご使用ください。
【色ムラ】粘土成分の微妙な違いや、焼成窯内の環境の変化により微妙な色合いが発生することがありますが、品質上の問題はありません。
【貫入】釉薬表面に発生する細かい亀裂を貫入といいます。これは粘土と釉薬の収縮率の違いから生まれる自然現象であり、品質上の問題はありません。
【ピンホール】釉薬表面に発生する小さなへこみをピンホールといいます。これは釉薬の気泡や粘土に若干含まれている有機物が焼成によって消滅することで生まれますが、品質上の問題はありません。

安全に関するご注意

- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域、強風地域、あるいは中高層の建築物では、特殊な工事が必要とする場合があります。こうした条件で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

株式会社 石州川上窯業

島根県浜田市大金町イ742番地 TEL (0855) 28-2678 FAX (0855) 28-2770
URL: <http://www.sekisyu-kawakami.co.jp> E-mail: info@sekisyu-kawakami.co.jp

■特約店